

刑事資料

取 扱 注 意

実 務

刑 法〔下〕

警 視 庁 刑 事 部

## 発刊のことば

重要事件発生時の初動捜査体制の見直し、国際組織犯罪に対する的確な対応、暴力団が絡んだ金融犯罪の取締りなど、刑事警察が抱える課題は山積している。このほかにも、社会の動きが激しい今日、我々が思ってもみない様々な事件事故の発生も懸念される場所である。

これらの課題や事件事故に立ち向かっていくためには、捜査幹部はもとより、捜査に携わる一人一人が、プロとして真の意味での力を身に付ける必要がある。

そのためには、他署で処理した事件であっても、自分であればその事件をどう処理するかということを考えるトレーニングを常に怠ってはならない。「刑事実践塾」の重要性が強調される所以のものである。

本書は、いずれも一線において実際に起きた事例を基にしていることから、本書の活用を通じて、捜査官個々の力を高めることができるものと信ずる。

平成9年10月

警視庁刑事部長

吉村博人

## は し が き

本年1月の「刑法〔上〕」(実務32)に続いて「刑法〔下〕」(実務33)を発刊することとした。

本書では、刑法第2編に規定されている各罪のうち、第25章(汚職の罪)から第40章(毀棄及び隠匿の罪)までの章下に規定されている罪に関する事例を収録している。その内容は、昭和62年に発行した「刑法(下)」(実務26)に加筆・補正を加えるとともに、昭和61年から本年6月までに質疑回答に登載した質疑事例を取捨選択して構成したものである。

もとより、刑法は、警察官が職務を執行する上で最も重要かつ身近な法律であり、本書の事例は実際に第一線から当課に寄せられた質疑を基に作成されていることから、繰り返し行われる類似の事犯を擬律する上で大いに参考となると思われる。

本書が、刑事警察官のみならず、全警察官の執務の手引書として活用され、プロとしての実力を涵養<sup>かんよう</sup>するための一助となれば、幸いである。

平成9年10月

警視庁刑事部刑事総務課長

小名木 幹 郎

## 目次

## 刑法〔下〕

## 第2編 罪

## 第25章 汚職の罪

## 1 単純・受託・事前収賄罪

- 〔事例〕 1 賄賂を返還しようとしたが、拒否されたため、公務所の諸経費に充てた場合における贈・収賄罪の成否……………(1)
- 2 一定の職務行為を行うことを申し向け、その謝礼として金員を要求し、これを受領した公務員の刑責……………(3)

## 2 第三者供賄罪

- 〔事例〕 知人に賄賂を供与・收受させた公務員の刑責……………(5)

## 3 加重収賄・事後収賄罪

- 〔事例〕 1 医師国家試験の試験問題を事前に受験生に漏らし、その謝礼を受け取っていた医師試験委員の刑責……………(7)
- 2 自動車検査員を買収して内容虚偽の保安基準適合証を作成させた者と当該検査員の刑責……………(8)
- 3 職場内の人事異動によって配置換えとなった後、前の職務に関して賄賂を受領した者の刑責……………(10)

## 4 没収・追徴

- 〔事例〕 賄賂として收受した現金を預金した場合、その元本及び利息を没収することの可否……………(12)

## 5 贈賄・あっせん贈賄罪

- 〔事例〕 1 道路交通法によって罰せられると思って警察官に賄賂を差し出したが、罰則が適用されない違反行為であった場合の賄賂罪の成否……………(15)

- 2 仕事上の便宜を図ってもらう意図で現金を貸した建設業者と、その意図を知らないで当該現金を借りた公務員の刑責……………(16)

## 第26章 殺人の罪

### 1 殺人罪

- [事例] 1 病弱な老父の死を希望し、その生存に必要な保護を行わず、衰弱死させた同居の息子の刑責……………(19)
- 2 「一緒に死ぬ。」と相手方を欺いて山中で自殺させた上、その死体を放置した内妻の刑責……………(20)
- 3 被害者を欺いて自殺を勧め、心理的に追い詰めて自殺を執行させたが、自殺させることができなかった者の刑責……………(22)
- 4 殺意をもって、小さな果物ナイフで首筋等を目掛けて切り付けたが、その目的を遂げなかった場合における殺人未遂罪の成否……………(25)
- 5 既に死亡しているとは知らずに、死亡直後の者に対して殺意を抱き、その死体をあいくちで突き刺した場合における殺人未遂罪の成否……………(27)
- 6 暴力団組事務所組員が在室していることを電話で確認した後、同組員が在室していると覚しき部屋に向かってけん銃を発砲した者の刑責……………(28)

### 2 殺人予備罪

- [事例] 1 殺害の目的でけん銃を構えて屋内に押し入り、相手を捜し回ったが、ついに相手を発見できなかった者の刑責……………(31)
- 2 妻を殺害して保険金を取得する目的で共犯者と共謀した段階で発覚した場合における殺人予備罪の成否……………(32)
- 3 切り付ける部位等によっては相手方が死ぬかもしれないと思いながら、日本刀を準備した場合における殺人予備罪の成否……………(37)

- 4 殺人を唆してあいくちを貸与したが、正犯者が殺人を実行しなかった場合における教唆者の刑責……………(38)
- 5 第三者を利用して殺害しようとしたが、途中で犯意を翻し自ら中止した者の刑責……………(39)

### 3 殺人未遂罪

- [事例] 1 逮捕しようとした警察官に自動車をおつけて逃走した者の刑責……………(42)
- 2 不特定人を殺害する目的で、駅の待合室に毒入りチョコレートを置いた者の刑責……………(43)
- 3 睡眠薬を飲ませた上、窒息させて殺害することを共謀したが、睡眠薬を飲ませたにとどまった場合の刑責……………(44)
- 4 自殺関与・同意殺人罪
- [事例] 自殺企図者から殺害の依頼を受けていた者が、その自殺に手を貸した場合の刑責……………(46)

## 第27章 傷害の罪

### 1 傷害罪

- [事例] 1 病気の幼児に必要な看護を故意に怠り、余病を併発させた継母の刑責……………(48)
- 2 緊急医療機関に指定されている個人医院の院長宅に、嫌がらせの目的で、連日、深夜に20回以上の無言電話をかけ、医院運営に支障を生じさせるとともに、院長夫人をノイローゼにより入院させた者の刑責……………(49)
- 3 自己の運転する乗用車を通行中の自転車に故意に接近させ、その結果、自転車に乗っていた者に傷害を与え、さらに、歩行中の者を死亡させた者の刑責……………(51)
- 4 迷信を信じ、治療の意思で息子に暴行を加え、その結果、加療1か月の傷害を与えた父母の刑責……………(53)
- 5 無理やり承諾させて入れ墨をした者の刑責……………(55)
- 6 相互に暴力を加え合った結果、鼻血を出すなどの事態

を生じた場合における当事者の刑責……………	(57)
7  他の共謀者と共同して暴行を加えた結果、相手に傷害を負わせた者の刑責……………	(58)
8  アパート2階の自室から包丁を持って追い掛けたところ、被害者が誤って同アパートの外階段から落ち、骨折した場合の追跡者の刑責……………	(60)
9  他人を脅かす目的でコップを投げ付けたところ、そのコップの破片が予想外の第三者の顔に突き刺さって傷害を負わせた者の刑責……………	(62)
10 バイクで後方から女性のショルダーバッグをひったくろうとして、当該女性が抱いていた乳児に予期せぬけがを負わせた者の刑責……………	(64)
2  傷害致死罪	
〔事例〕 1  恐喝目的で暴行を加えたところ、相手方が特異体質であったためにショック死した場合における当該恐喝犯人の刑責……………	(66)
2  非医師であることを承知の上で豊胸手術を受けた女性が死亡し、その後、当該手術と死亡との因果関係が明らかになった場合における傷害致死罪の成否……………	(68)
3  数名共同して被害者に暴行を加えて死に至らしめた場合において、被害者の死亡に直接関係のない暴行を加えた者の刑責……………	(70)
3  現場助勢罪	
〔事例〕 1  けんかの当事者に声援をしたが、声援が届かないまま当事者が相手に傷害を負わせた場合の声援者の刑責……………	(71)
2  暴力行為等処罰に関する法律第1条の2違反の罪に伴う現場助勢罪の成否……………	(73)
4  同時傷害の特例	
〔事例〕 1  二人が共同の意思なく、同一女性を各別に強姦し、同女に傷害を負わせた場合、いわゆる同時傷害の特例を適	

用することの可否……………	(75)
2  謀議に基づかない各人の暴行により他人を死亡させた者らの刑責……………	(76)
5  暴行罪	
〔事例〕 1  驚かす目的で、歩行者の直近すれすれに自動車を疾走させた者の刑責……………	(78)
2  人の顔面に糊を塗り付けた者の刑責……………	(80)
3  物陰に隠れた被害者に対し、手当たりしだいに物を投げ付けた者の刑責……………	(81)
4  女性の頭髪をバリカンで丸坊主にした者の刑責……………	(82)
6  凶器準備集合罪	
〔事例〕 1  暴力団事務所の当番に当たっていた者らが、襲撃に備え、事務所内に置いてあった木刀やゴルフクラブをすぐ使える状態にした場合における凶器準備集合罪の成否……………	(85)
2  集合後に共同加害の目的を持ち、凶器が隠されていることを知ったが、凶器を確認することができなかった者らの刑責……………	(87)
3  共同加害の目的で凶器を準備した上、配下の組員と共に傷害を負わせた者の刑責……………	(88)
第28章 過失傷害の罪	
1  過失傷害罪	
〔事例〕 1  散歩中の飼い犬が幼児にかみついで負傷させた場合における飼い主の刑責……………	(90)
2  走行中の自動車内からたばこの吸い殻を投棄して人を傷害した場合の刑責……………	(92)
3  商品を搬送中、不注意から買物客に傷害を負わせた者の刑責……………	(93)
2  過失致死罪	
〔事例〕 廃品回収業者が回収した瓶の毒物混合液を飲み死亡した	

場合に、当該瓶を死亡者に売った者の刑責……………	(95)
3 業務上・重過失致死(傷)罪	
〔事例〕 1 普通貨物自動車の運転を業とする者が、たまたまフォークリフトを運転中、運転操作を誤って人を死亡させた場合の刑責……………	(96)
2 貨物自動車のエンジンが故障したため他の自動車にけん引されて進行中、ハンドル操作を誤って人に傷害を与えた運転者の刑責……………	(98)
3 自転車から下ろした積荷が風のため倒れて通行人に接触し、傷害を負わせた場合における自動車運転者の刑責……………	(99)
4 無免許運転の被教唆者が自動車の運転を誤って通行人に傷害を負わせた場合における教唆者の刑責……………	(100)
5 過失によって家屋に自動車を激突させ、避難しようとした家人が転倒して負傷した場合における運転者の刑責……………	(102)
6 駅の階段を駆け降りる途中、他人と衝突し負傷させた者の刑責……………	(104)
7 自動車の中に幼児を寝かせたまま炎天下の駐車場に2時間駐車し、幼児を死亡させた母親の刑責……………	(105)
8 デパートの屋上から人通りの多い道路上へ飛び降り自殺を図り、通行人を死亡させた者の刑責……………	(106)
9 公園の砂場でゴルフボールを打っていたところ、同公園で遊んでいた子供にボールが当たり負傷させた者の刑責……………	(108)
10 自転車の通行が禁止されている歩道を走行中、スピードを出しすぎて人身事故を起こした者の刑責……………	(110)

### 第30章 遺棄の罪

#### 1 遺棄罪

〔事例〕 1 幼児を誘拐した後、人けのない公園に置き去りにした者の刑責……………	(114)
--	-------

2 けんかで重傷を負わせた相手を入けのない空き地まで運び、遺棄した場合における遺棄罪の成否……………	(115)
2 保護責任者遺棄罪	
〔事例〕 1 自己が警備を担当する会社の敷地内で、重傷を負い意識不明の状態で倒れている者を発見しながら、これを放置した者の刑責……………	(117)
2 疾走する自動車内に監禁された被害者が身の危険を感じて車外に飛び降り、そのため重傷を負ったことを知りながら逃走した者の刑責……………	(120)
3 4歳の実子のいる男性と同せいを開始した女性が、1週間だけ共同生活を営んだ後、当該子供を公園に置き去りにした場合における刑責……………	(122)
4 母親が出産した嬰兒を院内内の保育器に置き去ったまま逃走した場合における保護責任者遺棄罪の成否……………	(124)
5 1歳の実子の死亡を認容して河原に置き去りにした母親の刑責……………	(126)
6 幼児を自宅に置き去りにしたまま、愛人と駆け落ちをした母親の刑責……………	(127)
3 遺棄等致死(傷)罪	
〔事例〕 1 「傷害の罪と比較して、重い刑により処断する。」の意味……………	(129)
2 泥酔のため身体の自由を失った者を戸外に放置して凍死させた者の刑責……………	(130)
3 泥酔して道路上に寝込んだ同僚を置き去りにしたところ、同人が自動車にはねられて負傷した場合における保護責任者遺棄致傷罪の成否……………	(132)

### 第31章 逮捕及び監禁の罪

#### 1 逮捕・監禁罪

〔事例〕 1 睡眠薬を飲まされて昏睡した者を自宅に連れ込んで閉
---------------------------------

じ込めた者の刑責	(136)
2 万引き犯人を事務室に連行し、2時間にわたって取り 調べた警備員の刑責	(138)
3 借金取立ての言動に驚いてトイレに逃げ込んだ女性を その場から出られなくした者の刑責	(139)
4 強姦目的で女性をドライブに誘い、積極的監禁手段を 用いることなく連行の上、姦淫した者の刑責	(141)
5 労働組合の統制に服させるため組合員を強制的に連行 して謝罪を強要した組合幹部の刑責	(143)
2 逮捕・監禁致死(傷)罪	
〔事例〕 1 被害者が自由を奪われたことの認識を欠く場合と監禁 致傷罪の成否	(145)
2 監禁中の被害者が脱出するため2階から飛び降りて傷 害を負った場合における当該監禁者の刑責	(147)
<b>第32章 脅迫の罪</b>	
1 脅迫罪	
〔事例〕 1 刑法上における脅迫の意義	(149)
2 単に嫌がらせの目的で、身の代金要求のいたずら電話 をかけた者の刑責	(150)
3 恨みを晴らす目的で、鋭利な刃物を被害者方の玄関先 にぶら下げた者の刑責	(151)
4 脅迫内容に錯誤がある場合の脅迫罪の成否	(153)
5 「一寸先は闇、特に駅のホーム上では御注意を！」と 記載した匿名の信書を郵送した場合における脅迫罪の成 否と既遂時期	(155)
6 脅迫行為に続いて同一人に傷害を与えた者の刑責	(157)
2 強要罪	
〔事例〕 1 刑法第223条(強要罪)1項と2項における手段の差 異	(159)

1181	2 遺失物を拾得した者が、所有者に対し当該遺失物を返 還することの条件としてデートに応ずることを要求した 場合の刑責	(160)
1182	3 組員の妻を脅迫し誓約書を作成させた暴力団組長らの 刑責	(162)
	4 懲らしめのために交際中の女性を脅迫して裸にさせた 上、写真撮影をした者の刑責	(164)
	5 グループを抜ける条件として、いわゆる「根性焼き」 をするように暗示して脅迫し、やけどを負わせた者らの 刑責	(165)

### 第33章 略取及び誘拐の罪

#### 1 略取・誘拐罪

〔事例〕 1 女子高校生を誘い出し、翌日まで帰宅させなかった者 の刑責	(168)
2 養子にやった子供を実親が略取して連れ戻した場合に おける未成年者略取罪の成否	(170)
3 情婦が保育していた子を連れ去った父親の刑責	(171)
4 嬰兒を連れ去ろうとした者が、その母親に追跡され、 約50メートル逃走した時点で当該嬰兒を地面に置いたま ま逃走した場合における未成年者略取既遂罪の成否	(172)

#### 2 営利等拐取罪

〔事例〕 1 債務者を略取した上、暴行・脅迫を加えて所持金を奪 取した者の刑責	(174)
2 わいせつ目的で幼女を誘拐して、約10キロメートル離 れた公園の便所内に連れ込んで所期の目的を遂げた後、 その公園に置き去りにした者の刑責	(176)
3 13歳未満の女子に対して姦淫行為を行うため、被害者 を誘い出す手段として欺き行為を開始した者の刑責	(178)
4 強姦の目的で女性に睡眠薬を飲ませて昏睡させた上、	

連れ去ろうとした者の刑責	(181)
3 身の代金目的拐取罪	
〔事例〕 1 誘拐して身の代金を要求した後、被誘拐者を監禁した場合に成立する罪の罪数関係	(183)
2 銀行員を誘拐した上、その者が所属する支店の長に対し身の代金を要求した者の刑責	(185)
4 国外移送拐取・人身売買罪	
〔事例〕 略取して貨物船に監禁し、外国へ移送した者の刑責	(187)
5 身の代金目的拐取予備罪	
〔事例〕 1 略取に必要な用具を準備して被害者宅に向う途中、実行を断念した者の刑責	(188)
2 被拐取者に関する情報収集行為と身の代金目的拐取予備罪の成否	(189)

### 第34章 名誉に対する罪

#### 1 名誉毀損罪

〔事例〕 1 遺恨を晴らす目的で相手方の名誉を害するような内容を数人の者に個別に話した場合における名誉毀損罪の成否	(191)
2 農業協同組合は、名誉毀損罪における名誉の主体となるか	(194)
3 嫌がらせの目的で誹謗 <sup>ひぼう</sup> 文書を特定の会社にファクシミリで電送した場合における名誉毀損罪の成否	(194)
4 相手の氏名を明記せず名誉毀損文書を公団住宅内の掲示板にはり出した場合における名誉毀損罪の成否	(197)
5 名誉毀損罪における公選の候補者には立候補予定者を含むか	(198)

#### 2 侮辱罪

〔事例〕 1 組合幹部を誹謗 <sup>ひぼう</sup> する内容の文言をトイレの壁にスプレー式ペンキで乱雑に大書した者の刑責	(199)
--	-------

2 株式会社自体を侮辱する内容のビラを掲示した場合における侮辱罪の成否	(201)
3 在日大使館職員に対する侮辱罪の成否	(203)

### 第35章 信用及び業務に対する罪

#### 1 信用毀損・業務妨害罪

〔事例〕 1 マンションの管理人が、居住人に対する嫌がらせの目的で、郵便配達人に虚偽の事実を告げるなどして居住人あての郵便物を差出人に返送させた場合における偽計業務妨害罪の成否	(205)
2 パーキング・メーターの駐車車両感知ランプ部分にガムテープをはった者の刑責	(207)
3 歯科医院の医療機器用コンプレッサーのネジをひそかに緩めて治療の開始を遅らせた者の刑責	(209)
4 スーパーの商品に縫針を差し込んだ上、当該スーパーの店長から現金を喝取しようとした者の刑責	(210)
5 連日にわたり不特定多数人を欺いて特定のスーパーに対し無用の電話をかけさせた者の刑責	(212)
6 ホテルの営業を妨害する目的で虚偽の内容のビラを配布した上、ホテル支配人に金員を要求した者らの刑責	(214)
7 知人から借金の申込みを断られた腹いせに、飲食店に虚偽の注文をして、当該知人宅あてに飲食物を配達させた者の刑責	(216)
8 無銭飲食するに際し、虚偽の宴会を予約し、さらに、飲食代の支払を免れた場合、詐欺罪のほかに偽計業務妨害罪の刑責を負うか	(218)
9 スナックの雇われママが、経営者に対する腹いせから、店にあるすべてのウイスキーボトルの中身をひそかに流し捨てた場合における偽計業務妨害罪及び器物損壊罪の成否	(220)

10	ばちんこ店から出て来て、買取所を探している客に対し、アルバイトを使って「買取所はあっちだよ。」と申し向け、自己の経営する買取所で相場より安く景品を買い取った者の刑責	(222)
2	威力業務妨害罪	
[事例]	1 スナックに来店したところ、暴力団組員であることを理由に入店を断われたことから、これに腹を立てて店内にあったウイスキーボトル等を損壊し、同店の営業を一時中断させた暴力団組員らの刑責	(227)
	2 正当な賃借人が営業する店の出入口に特殊合板を取り付けて営業不能にした建物所有者の刑責	(229)
	3 商品に毒を入れたと虚偽の事実を申し向けて百貨店から現金を脅し取ろうとした者の刑責	(230)
	4 国会の本会議中、傍聴席から靴を投げるなどして議事を中断させた者の刑責	(232)
	5 深夜、ばちんこ景品交換所の業務を妨害するため同所内に大量の <sup>じんごん</sup> 人糞を撒き散らした者の刑責	(235)
	6 道路工事中の者の直近にガラスコップを投げ付けて工事を一時中断させた者の刑責	(238)
	7 嫌がらせ目的で、運送店の出入口に鉄の鎖を張り、トラックの通行を困難にした者の刑責	(240)
3	電子計算機損壊等業務妨害罪	
[事例]	1 警察官の目を盗んで携帯コンピュータ（ポット）を破壊した者の刑責	(243)
	2 外部の端末装置を操作して勤務先のコンピュータ内の受注・発注データを消去した者の刑責	(246)
	3 コンピュータを内蔵した数値制御式旋盤のプログラムを消去した者の刑責	(248)

## 第36章 窃盗及び強盗の罪

## 1 窃盗罪

[事例]	1 いわゆる禁制品を窃取した場合における窃盗罪の成否	(251)
	2 窃盗犯人が占有する盗品を更に窃取した場合における窃盗罪の成否	(252)
	3 町会所有に係る街灯の電気コードの一部を裸にした上、その部分に屋台の照明器具のコードを接続して電気を無断消費した露店商の刑責	(253)
	4 公衆電話機のコードを切断して電話機本体ごと持ち去った者の刑責	(254)
	5 被害者が捨てるつもりで所持していた広告用パンフレット在中の封筒を、現金が入っているものと思ってハンドバッグの中から抜き取った者の刑責	(256)
	6 駅の改札口から使用済みの切符を持ち去った場合における窃盗罪の成否	(257)
	7 他人を困らせる目的で同人所有のオートバイを無断で運転した上、有料駐車場に預け放しにしておいた者の刑責	(259)
	8 交通事故の相手方に車の修理費を確実に支払わせるため、相手方の自動車のエンジンキーを持ち去った者の刑責	(261)
	9 いわゆる自動車金融により所有権を取得した者が、買戻権を行使しない売主の占有下にある車を無断で引き上げた行為と窃盗罪の成否	(263)
	10 相手を傷つけるための凶器として一時的に使用する意図の下に、スーパーマーケットから無断ではさみを持ち出した場合における窃盗罪の成否	(265)
	11 自動車を窃取した者が、当該車両の中に現金があることを知らないうちに捕まってしまった場合における当該	

現金に対する窃盗罪の成否	(267)
12 警察官不在の交番の机の上に置いてあった拾得物を持ち去った者の刑責	(269)
13 マンション内の専用郵便受けに誤って投函された不在配達通知書を抜き取った者の刑責	(271)
14 所有者が順番を明示するために一時的に置いたポストンバッグを所有者の不在に乗じて領得した者の刑責	(274)
15 公衆電話ボックス内に置き忘れられた財布を領得した者の刑責	(276)
16 区役所が撤去して保管中の放置自転車を、保管場所のフェンスを乗り越えて侵入し、持ち去った者の刑責	(278)
17 自己の口座に誤って振り込まれた預金をキャッシュカードを用いて引き出した者の刑責	(280)
18 配送業務に従事中的間屋の従業員が、配送品を領得するため、配達先に対して本来引き渡すべき商品よりも少ない商品を引き渡して残りの商品を領得した場合の刑責	(282)
19 会社の自動車を運転して稼働中に所在をくらました上、遠隔地に乗り捨てた運転手の刑責	(284)
20 警備員が常駐する銀行のキャッシュコーナーで、客が財布を落とすのを見た別の客が、その後直ちに当該財布を領得した場合の刑責	(286)
21 銀行内に設置された現金自動支払機から離れたすきに、現金引渡し口に出てきた現金を窃取された場合、被害者は銀行か支払請求者か	(287)
22 路上を歩いていた他人の飼い猫を自分で飼育する目的で連れ去った者の刑責	(289)
23 事務室において既に死亡している個人企業経営者の机の中から現金を領得した者の刑責	(290)
24 アルバイト事務員を欺き、社長管理に係る現金在中のバッグを交付させた者の刑責	(292)

25 購入しようとする衣装ケースの中に別の商品であるセーターを隠匿して、これをレジに差し出し、衣装ケースの代金のみを支払った者の刑責	(294)
26 客から預かった給油カードを不法に領得した後、相手方を欺いてカードの返還を免れたガソリンスタンド店員の刑責	(297)
27 ホテルから借り受けた宿泊客貸出し用ビデオテープを虚言を用いて持ち逃げした宿泊者の刑責	(299)
28 試乗名下に車両を借り受けて逃走した者の刑責	(300)
29 銀行の貸金庫在中の財物を同金庫の借主に成り済まして領得した者の刑責	(303)
30 ばちんこ店内に遺留されている財布を発見した客を欺いて当該財布の交付を受けた者の刑責	(305)
31 乗車料金を支払う意思がないのにタクシーに乗車して走行させた上、運転者に1万円札を示して釣り銭を先に受け取ってそのまま逃走した者の刑責	(308)
32 財産的処分権限を有しない者をだまして、第三者の窃取に係る盗品を交付させた者の刑責	(309)
33 乗客が運賃支払の担保として置いていった腕時計を持ち逃げしたタクシー運転手の刑責	(311)
34 財布をだまし取る目的で欺き、相手方が交付しようとしなかったため、いきなり財布をひったくって領得した者の刑責	(313)
35 商品を超安値で友人に持ち出させたアルバイト店員の刑責	(315)
36 法務局備付けの土地登記簿を持ち出した上、タイプライターを使用して自己に所有権が移転した旨印字した後、返還した者の刑責	(318)
37 唆されて自社の機密書類を一時的に社外へ持ち出して返還した者及びこれを借り受けてコピーをした者の刑責	(320)

38 韓国通貨の500ウォン硬貨を悪用できることを告げて譲り渡した者と、これを譲り受け、当該硬貨の表面を削って自動販売機に投入し、返却された500円硬貨を取り出した者の刑責	(322)
39 乗車券自動券売機の釣り銭返却口の奥にチューインガムを粘着させて硬貨を領得した者の刑責	(324)
40 数人で暴行を加えた直後、相手方が反抗の気力を全く失って倒れている状態に乗り、同人の所持金を奪取した場合の刑責	(327)
41 けんかの相手方が宥 <sup>ゆう</sup> 恕 <sup>じよ</sup> を請うて任意に相手に差し出した財布を受け取った者の刑責	(329)
42 オートバイを窃取しようとしてそのかぎだけを持ち去った者と、そのかぎを譲り受けて後日に当該オートバイを持ち去った者の刑責	(331)
43 他人の郵便受けの中からかぎを取り出し、これを使用して家屋に侵入した上、室内を物色した者の刑責	(333)
44 同一機会に窃盗の既遂と未遂を犯した場合における罪数	(336)
45 運送の委託を受けた荷物の送付伝票を取り替え、当該荷物を自宅へ配送させた運送会社アルバイト員の刑責	(338)
46 自転車に取り付けてあるライトや荷物かごを取り外して盗む目的で、施錠された自転車を担いで移動した場合における窃盗罪の客体と既遂・未遂の別	(340)
47 窃盗の目的で駐輪場にあった自転車にまたがってこぎ出そうとしたが、当該自転車にかぎが掛かっていたため、その場に転倒した場合、その窃盗行為は既遂か未遂か	(342)
48 窃盗の目的で他人の住居に侵入し、室内にある大型備付金庫に近づいたところを家人に発見された場合における窃盗未遂罪の成否	(344)
49 商品にセンサータグを取り付けた万引き防止システム	

のある店舗内において、ビデオテープをかばんの中に入れた場合、窃盗の既遂か未遂か	(346)
50 自動販売機荒しの目的で、同機のかぎ穴にタップ（ねじ穴の内面を切り取るための工具）をねじ込んだ場合における窃盗未遂罪の成否	(348)
51 ひったくった財物をその場で足元に落として逃走した場合、窃盗の既遂か未遂か	(350)
52 陳列中のハンドバッグの定価札を外した上、自己の腕に掛けてその場から立ち去ろうとした場合、窃盗罪は既遂か未遂か	(351)
53 窃取したキャッシュカードを利用して現金自動支払機から現金を引き出そうとしたが、既に事故扱いの措置がとられていたため目的を遂げなかった者の刑責	(353)
54 窃盗共謀者の一人が強盗を行った場合、当初から犯意を放棄して実行に加わらなかった共謀者の刑責	(355)
2 不動産侵奪罪	
〔事例〕 1 買主に引き渡したが、いまだ所有権移転登記がなされていない建物を暴力団員を使って占拠させた売主の刑責	(357)
2 賃貸借契約を合意解約したにもかかわらず居座り続ける住人の家財道具を無断で搬出し、その居室を閉鎖したアパート経営者の刑責	(360)
3 借金を返済しない債務者に激怒した暴力団組長らが、けん銃を突き付けるなどして居住しているマンションの一室から追い出して同室を占拠した場合における不動産侵奪罪の成否	(362)
4 他人所有の土地を自己の所有地であるかのように装って多数の第三者と駐車場使用契約を結んで、約1年間にわたり駐車させた場合における不動産侵奪罪の成否	(364)

## 3 強盗罪

〔事例〕 1 暴行・脅迫を加えてアパートの居住者を追い出し、長

期間居座った場合における強盗罪の成否……………	(366)
2 財物強取の手段の一環として、財物の占有に無関係な 者に対し暴行・脅迫を加えた者の刑責……………	(368)
3 暴行・脅迫を加えて現金交付の約束をさせ、そのかた に腕時計を持ち去った者の刑責……………	(369)
4 無銭飲食が発覚し、料金の支払請求を受けた際、店主 に暴行を加えて支払を免れた者の刑責……………	(370)
5 タクシー強盗に着手したが、運転手が逃走したため何 も奪わずに逃走した者の刑責……………	(373)
6 売春の客となった者が、売春婦に脅迫手段を用いて反 抗を抑圧し、売春の対価の支払を免れた上、所持金を強 取した場合の刑責……………	(375)
7 窃盗に着手した後、強姦をし、被害者の畏怖に乗じて 更に現金を強取した者の刑責……………	(377)
8 窃盗目的で住居に侵入して金品を窃取した後、家人に 発見されたため、強盗の故意を生じ家人に暴行・脅迫を 加えたが財物を強取できなかった者の刑責……………	(378)
9 共同実行の意思なく各別に暴行を加えて相手方に傷害 を負わせ、そのうちの一人が財物を強取した場合におけ る各行為者の刑責……………	(380)
4 強盗予備罪	
〔事例〕 1 強盗殺人罪の予備を行った者の刑責……………	(382)
2 強盗の目的で凶器を携えて他家に侵入したが、家人が 不在であったため窃盗行為にとどまった者の刑責……………	(384)
3 事後強盗の実行を共謀した上、催涙スプレーを隠し 持って予備行為を行った者らの刑責……………	(386)
5 事後強盗罪	
〔事例〕 1 逮捕しようとした家人に暴行を加えて逃走した窃盗未 遂犯人の刑責……………	(390)
2 逮捕を免れる目的で、侵入先の包丁を持ち出し、これ	

を家人に突き付けて脅迫した上、当該包丁を持ったまま 逃走した者の刑責……………	(391)
3 常人に現行犯逮捕された窃盗被疑者が、連行途中の逮 捕者に暴行を加えた場合の刑責……………	(394)
4 自動車窃盗犯人が逮捕を免れるため、追跡してきた被 害者が運転する車に盗難車両を追突させた場合における 事後強盗罪の成否……………	(395)
5 窃盗犯人が、自分が窃盗犯人ではないと思わせるため に目撃者に対して暴行を加えた場合の刑責……………	(397)
6 逮捕を免れる目的で凶器所持を仮装して脅迫した万引 き犯人の刑責……………	(398)
7 犯行から3時間後に偶然被害者に発見された窃盗犯人 が、逃走するため当該被害者に暴行を加えた場合におけ る事後強盗罪の成否……………	(400)
6 昏酔強盗罪	
〔事例〕 1 昏酔させて所持金を盗む目的で被害者に睡眠薬入り ビールを飲ませた上、昏酔する前に酩酊状態の被害者か ら所持金を盗取した者の刑責……………	(402)
2 昏酔強盗の目的で睡眠薬を飲ませたところ、少量で あったため昏酔させることに失敗し、被害者が自然に熟 睡するのを待って現金を奪った者の刑責……………	(404)
3 金品を奪う目的で、被害者が飲みかけのコップのビー ルに睡眠薬を混入した者の刑責……………	(406)
7 強盗致死傷罪	
〔事例〕 1 刑法第240条所定の強盗致死傷罪の未遂は、どのよう な態様の場合に認められるのか……………	(408)
2 父親から財物を盗取しようとした者が、窃盗の機会に 逮捕を免れる目的で人を傷害した場合における強盗傷人 罪の成否……………	(410)
3 無言のまま不意に殴打して相手方に傷害を与えた場合	

における強盗傷人罪の成否	(411)
4 窃盗犯人が逮捕を免れるため3名に暴行を加え、そのうちの2名に傷害を負わせた場合の刑責	(413)
5 2人組の強盗犯人が家人2名に各別に暴行・脅迫を加え、そのうちの一人が家人1名に対して傷害を負わせた場合における他の共犯者の刑責	(415)
6 同一被害者に対して恐喝と強盗傷人行為を接続して敢行した者の刑責	(418)
7 債権債務関係を不明にし、かつ、後日、現金を強取する目的で債権者を殺害し、その1週間後に同人宅から現金を領得して、その目的を遂げた者の刑責	(419)
8 父親が強盗犯人に脅迫されている際、息子が犯人に目掛けて投げ付けた花瓶がそれで壁に当たり、破片で父親が負傷した場合における強盗致傷罪の成否	(421)
9 共謀して強盗に着手した際、共謀者の一人が被害者に傷害を与え、かつ強姦して財物を奪取したが、他の共謀者がこれらの事実を知らなかった場合の刑責	(423)
8 強盗強姦罪・同致死罪	
[事例] 1 心霊術を施すと称して女性に催眠術をかけて同女の現金を盗んだ後、催眠状態にある同女を姦淫した者の刑責	(426)
2 強姦と強盗の目的で被害者に暴行・脅迫を加え、強姦行為(未遂)に引き続いて財物を奪取して逃走した者の刑責	(427)
3 強盗の機会に婦女を姦淫しようとしたが失敗し、財物強取の際、同女に傷害を負わせた者の刑責	(429)
4 強盗未遂犯人が現場での姦淫に失敗し、20分後に別の場所で同一被害者を姦淫した場合における擬律	(431)
5 2名の婦女に対して脅迫を加えて財物を強取し、さらに、その機会に1名の婦女を強姦した場合における強盗罪と強盗強姦罪の罪数関係	(433)

## 9 他人の占有等に係る自己の財物の特例

[事例] 1 他人に貸与した腕時計をひそかに取り戻した上、これを紛失したと誤信した同人に弁償金を支払わせた者の刑責	(435)
2 所有権留保付きの割賦販売契約で購入した車を売主に無断で借金の担保に入れた買主と、これをひそかに取り戻した売主の刑責	(437)
3 法定地上権が設定された自己所有地に、抵当権者に無断で建物を建て始めた抵当権設定者の刑責	(438)

## 10 親族間の犯罪に関する特例

[事例] 1 実母が死亡した後も継父と同居している継子が継父の現金を盗んだ場合における親族間の犯罪に関する特例の適用及び有無	(440)
2 外国人と婚姻をした場合における親族間の犯罪に関する特例の適用の有無	(441)
3 日本人である義兄の財物を窃取した韓国人について、親族間の犯罪に関する特例が適用されるか	(442)
4 共有物を盗取された被害者の一部と犯人とが親族関係にある場合における親族間の犯罪に関する特例の適用の有無	(445)
5 母親が誤って占有した他人所有のカメラを父親の所有物と誤信して持ち出した実子の刑責	(446)
6 実兄の物を盗むように教唆したところ、被教唆者が誤って他人の物を窃取した場合における親族間の犯罪に関する特例の適用の有無	(448)
7 同居していない継父の財物を窃取した場合における親族間の犯罪に関する特例適用の有無	(450)

## 第37章 詐欺及び恐喝の罪

## 1 詐欺罪

〔事例〕 1 他人に成り済まして確定申告を行い、税務署から所得税の還付を受けた者の刑責	(454)
2 市役所から他人名義の国民健康保険被保険者証を不正に取得する行為と詐欺罪の成否	(456)
3 拾得した他人の健康保険組合員証を使って、医院で治療及び投薬を受けた者の刑責とその被害者	(458)
4 裁判所に対し、株券を紛失したと虚偽の公示催告の申立てをし、除権判決を受けて発行会社から株券の再発行を受けた者の刑責	(461)
5 請負建築家屋の引渡し名下に注文主から代金を受領した上、下請負業者に無断で所有権保存登記申請を代行した元請負業者の刑責	(463)
6 不動産を対象とする1項詐欺罪の既遂時期	(466)
7 現金をだまし取る目的で欺き行為を行ったところ、相手方から預金通帳等を渡されたので、預金を払い戻した上、当該現金を領得した者の刑責等	(468)
8 銀行預金の引出しを依頼された者が、依頼された金額の範囲を超えて引き出した場合の刑責	(471)
9 自己の銀行預金口座を利用することを許した上で同口座に他人がした預金を勝手に引き出して現金を領得した者の刑責	(472)
10 友人から言葉巧みに財布を預かり、それを持ち逃げした者の刑責	(475)
11 他人を仮装して商店に虚偽の注文をし、留守中の同人家玄関前に商品を配達させ、これを持ち去った者の刑責	(477)
12 通信販売における詐欺罪の着手と既遂の時期	(478)
13 違法駐車として移動の措置がとられた自己の自動車を駐車場の係員を欺いて持ち去った者の刑責	(480)
14 情を知らない客を誘い、いわゆる「詐欺賭博」を開催した者の刑責	(482)

15 盗品であることを秘して友人に当該盗品を売却するに当たり、その友人から以前に借金していた金額を代金から差し引いて交付を受けた場合における詐欺罪の態様と被害額	(484)
16 免許証を有している他人が運転するように装って無免許者がレンタカーを借り受けた場合における詐欺罪の成否	(486)
17 値札を付け替えて高価な商品を安価で購入した者の刑責	(488)
18 電車内で駅員が拾得した財布を、同駅員を欺いて持ち去った者の刑責	(490)
19 誤って渡された他人の自動車のかぎを黙って受け取り、これを用いて駐車中の同車を運転し持ち去った者の刑責	(492)
20 横領金を穴埋めする目的で、取引相手から受け取った領収書の金額を改ざんして水増し請求を行った上、受領金により穴埋めを行った者の刑責	(494)
21 従業員が客と顔を合わせない営業システムを採っているモーターに無銭宿泊した場合における詐欺罪の成否	(496)
22 乗車するための定期券と下車するための定期券をそれぞれ購入して、途中区間の乗車券を持たずに、乗車駅の自動改札機を通過して電車に乗り、下車駅の改札係員に定期券を示して「キセル乗車」を行った者の刑責	(499)
23 料金支払の意思も能力もないのにタクシーに乗車し、目的地付近で用便を装って降車して逃走した者の刑責	(502)
24 窃取したタクシーチケットを使用してタクシーに乗車した者の刑責	(503)
25 保険金をだまし取る目的で火災保険契約を締結し、自己所有家屋に放火して全焼させた後、保険金を請求しようとした者の刑責	(506)

26 自己名義のクレジットカードを使用して商品を購入し これを換金した者の刑責……………	(508)
27 偽造した他人の身分証明書を利用してクレジットカードの 交付を受けようとしたが、怪しまれてその目的を遂 げなかった者の刑責……………	(512)
28 他人のクレジットカードを利用して商品購入を申し込 み、当該商品を再送するために情を知らない運送業者ま で配送してもらった場合における詐欺罪の既遂時期……………	(514)
29 サラ金会社の無人コーナーに設置してある自動契約受 付機に、拾得した他人の運転免許証を使用して会員登録 申込みを行ってキャッシュカードの交付を受けようとし たが、その目的を達せられなかった者の刑責……………	(515)
30 身分や用途を偽ってビルの一室を借り、組事務所を開 設した暴力団幹部らの刑責……………	(517)
31 銀行から融資を受けるに際し、友人を欺いて連帯保証 人となることを引き受けさせた者の刑責……………	(520)
32 商品をだまし取った後、偽造手形を交付して代金の支 払猶予を得た場合における2項詐欺罪の成否……………	(523)
33 拾得した特定線引小切手を換金する目的で、銀行に架 空名義の普通預金口座を開設した上、当該小切手を提示 して額面金額を記帳させた者の刑責……………	(525)
34 架空会社を設立して銀行と当座勘定取引契約を結び、 統一手形・小切手用紙を入手した場合における詐欺罪の 成否……………	(528)
35 手形書換えに当たり偽造手形を差し入れて真正手形を 回収し、同時に手形支払の延期を承諾させた者の刑責……………	(529)
36 詐欺の手段として婚姻した後、金員をだまし取って逃 走した場合において、親族間の犯罪に関する特例が準用 されるか……………	(530)
37 かつての恋人が産んだ子供に対して行った詐欺につい	

て、親族間の犯罪に関する特例が準用されるか……………	(532)
38 拾得した他人の国民健康保険被保険者証を身分証明書 として携帯電話機の交付を受け、その後、当該携帯電話 機を使用してその通話料金の支払を免れた者の刑責……………	(533)
39 競馬の予想依頼の事実がないにもかかわらず、それ に対する正当な請求であるかのように装って郵便物の代金 引換制度を悪用して、名あて人の家族の者から引換代金 を領得した場合における詐欺罪の成否……………	(536)
2 電子計算機使用詐欺罪	
[事例] 1 勤務先銀行の端末機を不正に操作し、自己が他の銀行 に開設した普通預金口座の預金残高を増額した者の刑責……………	(539)
2 紙幣の表裏をはく離した紙片をATMに挿入し自己 名義の普通預金口座に振り込んだ者の刑責……………	(542)
3 自己の経営するばちんこ店の自動貸玉機に変造パッ キーカードを挿入して、コンピュータの支払関係のファ イルを書き換えさせ、利益を得た経営者の刑責……………	(544)
3 準詐欺罪	
[事例] 未成年者を欺いて財物を交付させた者の刑責……………	(547)
4 恐喝罪	
[事例] 1 恐喝の目的で脅迫文書を郵送した場合における恐喝罪 の着手時期……………	(549)
2 金員を交付させる目的で被害者を脅迫したところ、被 害者がその要求に従って金員の交付を約束したが思い直 して警察に届け出た場合、2項恐喝既遂罪・1項恐喝未 遂罪のいずれで間擬するのが妥当か……………	(551)
3 債権者を脅迫して、5,000万円の債権を2,000万円で譲 渡させた者の刑責……………	(553)
4 傷害犯人の父親である貸ビル経営者を脅してビルの一 室を借り受け、組事務所を開設した暴力団組長の刑責……………	(555)
5 脅迫手段を用いてばちんこ景品買取所の営業権を時価	

相当額で買い取らせた場合における恐喝罪の成否	(558)
6 他の目的で暴行を加えられた被害者が、暴行を受けている最中に落とした財布を畏怖心から拾わずに立ち去ったのを奇貨として当該財布を領得した者の刑責	(559)
7 脅迫して畏怖させ、金銭貸借に基づく抵当権設定契約及び仮登記担保契約を締結させた者の刑責	(561)
8 同一人に対して数回の恐喝行為が行われた場合における罪数	(564)
9 債権者の弟を脅して借用証書に連帯保証人として署名・押印させた者の刑責	(566)
10 キャッシュカードを喝取した上、被害者を銀行まで連れて行き現金自動支払機から現金を引き出した者の刑責	(568)
11 売淫料の支払を恐喝して免れた場合と、欺き行為によって免れた場合における2項恐喝罪・2項詐欺罪の成否	(571)
12 自己の身分・性行等を知悉している者に対して金員の交付を要求した暴力団組長の刑責	(574)
13 被害者の畏怖心が継続していることを利用して飲食代金の支払を免れた者の刑責	(575)
14 財物を喝取した直後、逃走を容易にする目的で被害者に対し強度の暴行を加え、傷害を負わせた場合における強盗致傷罪の成否	(577)
5 背任罪	
[事例] 1 自己が業務上保管しているコンピュータ・プログラムのフロッピーディスクを会社に無断で知人に貸与し、コピーさせた社員の刑責	(579)
2 所有権留保付きで販売した乗用車を修理のため預かったにもかかわらず、第三者に代物弁済として引き渡した自動車販売修理業者の刑責	(582)

3 スナックの営業権と建物賃借権を有する者が当該権利を譲渡した後、所有者と賃貸借契約を解約して新たなスナック営業主に損害を与えた場合の刑責	(584)
4 過去の不正融資をネタにして信用金庫支店長を脅迫して融資金名下に現金を得た者と、信用金庫の信用を守るためにこれに応じて自己の専決限度額以上の現金を交付した支店長の刑責	(587)
5 自己の個人的な借金を会社の売掛金と相殺した集金担当者の刑責	(589)
6 信用金庫の融資担当課長が、既存の貸付金の回収を図るとの名目で救済融資をした場合における背任罪の成否	(592)
7 信用金庫の支店長が、融資先企業の経営建て直しに役立つと判断し、当該企業（根抵当権設定者）の懇請に応じて根抵当権の一部を信用金庫に無断で抹消した場合における背任罪の成否	(593)

### 第38章 横領の罪

#### 1 横領罪

[事例] 1 仮装の不動産売買に基づく所有権移転登記を行った者と、その後、当該不動産を勝手に処分した仮装譲受人の刑責	(596)
2 キャッシュカードによる預金の引出しを依頼された際、依頼された金額以上に現金を引き出して領得した者の刑責	(598)
3 所有権留保特約付きで購入した自動車について、自動車販売会社から返還請求を受けたにもかかわらず、これに応じなかった者の刑責	(600)
4 窃取された約束手形の仮還付を受けた者が、その手形を勝手に現金化した場合の刑責	(602)

5 弟が窃取した盗品を同人が真実購入したものと誤信して預り保管中、これを勝手に入質しようとした兄の刑責……………	(604)
6 入質横領した物品を受け戻した後に他へ売却処分した場合における横領罪の罪数関係……………	(606)
7 保険金請求手続の委託を受けた者が、保険金を自己の銀行預金口座に振り込ませた後費消した場合の刑責……………	(608)
8 借用中のレンタカーに備え付けられているカーステレオを売却する目的で取り外した者の刑責……………	(610)
9 友人から預り保管中の現金を、欺き手段を用いて領得した者の刑責……………	(612)
10 車両の所有者が当該車両を譲渡担保に供して借金した後、当該車両を第三者に売却した場合における横領罪の成否……………	(613)
11 自己の土地を売却した後、いまだ所有権移転登記がなされていないことを奇貨として第三者に対し根抵当権を設定した者の刑責……………	(615)
2 業務上横領罪	
[事例] 1 たまたま下命されて集金した新聞販売代金を入金せずに逃走したアルバイト員の刑責……………	(617)
2 社長から割引を指示されて手形を受け取った経理課長が、その直後に不法領得の意思を生じ、外見上は委託の趣旨に従ってこれを割り引いた後、割引金を自己の借金の返済に充当した場合における業務上横領罪の既遂時期……………	(619)
3 既製服販売業者から預かった洋服生地で作った背広を第三者に売却した洋服仕立業者の刑責……………	(621)
4 拾得者から届けられた店内遺失物を不法に領得したデパート受付係員の刑責……………	(623)
5 配達業務に従事中の宅配便従業員が電気製品在中の包装物を領得した場合の刑責……………	(625)

6 在職中に会社から借り受けていた資料を退職後他へ売却した者の刑責……………	(628)
7 過去の横領行為を隠ぺいするため、業務上集金した売掛金を穴埋めに充当した場合における業務上横領罪の成否……………	(630)
8 運送会社の代表取締役が、他社から借り受けて自社の業務に使用していた大型トラックを勝手に売却処分した場合における業務上横領罪の成否……………	(632)
9 上司から会社主催のイベントの招待券を無償配付するように指示された者が、その一部を有償配付してその代金を領得した場合の刑責……………	(634)
3 遺失物等横領罪	
[事例] 1 窃盗の意思で自転車のサドルを取り外したところ、当該自転車が占有離脱物であった場合の刑責とその着手及び既遂時期……………	(636)
2 持ち主が電車内の網棚にかばんを置き忘れて降車し、電車が走り出した直後に当該かばんを領得した者の刑責……………	(638)
3 誤って多く渡されたアルバイト代金を返還しないで自己の遊興費に使った者の刑責……………	(640)
4 他人が置き忘れた携帯電話を使用して友人等に電話をかけた後、これを元の場所に置いて立ち去った者の刑責……………	(642)

## 第39章 盗品等に関する罪

盗品等無償譲受け・同運搬・同保管・同有償譲受け・同処分あっせん罪

### 1. 盗品等無償譲受け罪

[事例] 1 窃取した米ドルを日本円に交換した場合における盗品等としての同一性……………	(644)
2 情を知りながら窃取した現金で洋服等を買ってもらったり飲食物をおごってもらったりした窃盗犯の情婦の刑	

責	(645)
3 盗品等であることを知らないでもらい受けた者から、その情を知りながら、これをだまし取った者の刑責	(647)
4 窃盗罪について公訴時効が完成した盗難原付バイクを、その情を知りながら無償で譲り受けた場合における盗品等無償譲受け罪の成否	(648)
5 盗品であることの情を知らずにもらい受けた者が、その情を知った後も、引き続き自己の物として使用していた場合における盗品等無償譲受け罪の成否	(650)
6 面識のない者から盗難品らしき自転車を譲り受けて使用していた者の刑責	(652)
2 盗品等運搬罪	
[事例] 1 情夫が窃取してきた盗難品をその情婦が協力して約30メートル離れた自宅まで運搬した場合における盗品等運搬罪の成否	(655)
2 盗品を車で運搬する窃盗本犯の依頼を受けた第三者が自己の車で先導した場合における盗品等運搬罪の成否	(656)
3 窃取したオートバイであることを知りながら、窃盗本犯と交互に運転した上、売却先まで同行した者の刑責	(657)
4 売却して既に引渡しを完了した盗品を、購入者の依頼によって運搬した窃盗犯人の刑責	(659)
5 窃取し移動中のオートバイであることを知りながらその行為に加担した上、当該オートバイを自宅に運んで保管した者の刑責	(660)
3 盗品等保管罪	
[事例] 1 盗品である腕時計と知りながら預かり、外国で修理してきてやった者の刑責	(662)
2 窃盗犯人が使用している盗品バイクを情を知って共同使用していた者の刑責	(665)

3 窃盗犯人から預かった盗品を無断で売却した者の刑責	(666)
4 盗品とは知らずに本犯から盗品を預かった者が、その情を知った後も引き続き本犯のため盗品を保管していた場合の刑責	(667)
5 盗品の売却の依頼を受けた者が、更に他の者に売却を依頼した場合における盗品等処分あっせん罪の成否	(669)
4 盗品等有償譲受け罪	
[事例] 1 入質中の盗品をもらい受ける約束で窃盗本犯に元利金を交付した後、受け戻した当該盗品をもらい受けた者の刑責	(671)
2 盗難手形であることの情を知りながら窃盗本犯の割引依頼に応じて同手形を割り引いた金融業者の刑責	(672)
3 他人所有財物の保管者に欺き手段を用いて唆し、その財物の交付を受けた者の刑責	(673)
4 同僚から依頼を受けて飼育中の熱帯魚を買い入れるようマニアに勧めた者と、その熱帯魚を購入した者の刑責	(675)
5 盗品であることを未必的に認識しながら買い受けたオートバイを、代金未払いのまま乗り回していた場合における盗品等有償譲受け罪の成否	(676)
6 共犯関係にない二人の窃盗犯人が、それぞれ保管中の盗品を交換した場合の刑責	(678)
5 盗品等処分あっせん罪	
[事例] 1 盗品の入質処分につき窃盗本犯から依頼された者が、更に他の者に入質処分を依頼した場合における盗品等処分あっせん罪の成否	(679)
2 盗品の保管を引き受ける旨申し向けて正犯者の窃盗を補助した後、自室を提供して盗品を保管するとともに盗品の売買交渉を行った者の刑責	(680)
3 窃盗を補助した者が盗品である小切手を銀行に提示し	

て換金した場合における刑責	(683)
6 親族等の際の犯罪に関する特例	
〔事例〕 1 第257条の「同居の」の文言は「親族」だけにかかるのか、又は、「配偶者」にもかかるのか	(685)
2 親族間で行われた盗品等に関する罪と刑法第257条の適用範囲	(686)
3 窃盗本犯の共犯者中に盗品等に関する罪の犯人の妻子がいた場合、その盗品等に関する罪の犯人に刑法第257条1項が適用されるか	(687)
4 刑事未成年者である息子が奪取した財物を受け取り隠匿した父親の刑責	(688)
<b>第40章 毀棄及び隠匿の罪</b>	
1 公用文書等毀棄罪	
〔事例〕 1 自動車の整備通告書と標章（故障ステッカー）を破棄した場合における公用文書毀棄罪の成否	(691)
2 記入前の交通切符用紙を破った者の公用文書毀棄罪の成否	(692)
3 速度違反取締中の警察官のすきをみて、自己の違反速度等が表示されている速度測定記録紙の走行速度を黒く塗りつぶした者の刑責	(694)
4 被疑者供述調書に署名を求められた際、調書の一部に斜線を引いて供述内容を抹消した者の刑責	(696)
5 警察官が差し押さえる旨を告げたメモ帳を奪い取って破り捨てた者の刑責	(698)
6 警察官が保管した運転免許証を交番の便所内に隠した者の刑責	(699)
7 区長名による違法建築に対する工事停止命令の立看板を布で覆い、記載内容が分からないようにした者の刑責	(701)

8 指名手配ポスター等を破った者の刑責と告訴権者	(703)
2 私用文書等毀棄罪	
〔事例〕 1 偽（変）造罪及び毀棄罪における「公文書」と「私文書」の意義	(706)
2 自己が作成して他人に交付した借用書の自己の署名部分を抹消した者の刑責	(709)
3 自己が振り出して他人に交付した小切手を、その前面で破り捨てた者の刑責	(710)
4 営業所のパーソナルコンピュータを操作して本社のセンターコンピュータ内の入力データを消去し、会社の営業をまひさせた者の刑責	(712)
5 外国人が所持する外国人登録証明書を破った者の刑責	(714)
3 建造物等損壊・同致死傷罪	
〔事例〕 1 新築直後の住宅の床柱を損傷した者の刑責	(715)
2 開閉できないビルのいわゆる「はめ殺し窓」のガラスを割った者の刑責	(717)
3 抵当権が設定されている自己所有の現住家屋を損壊した者の刑責	(719)
4 暴力団事務所に対してけん銃を発砲した者の刑責	(720)
5 嫌がらせ目的で他人のマンションに侵入した上、居室玄関ドアのかぎ穴の部分に瞬間接着剤を流し込んで解錠できなくさせたことにより、居住者の外出を著しく困難にさせた者の刑責	(722)
4 器物損壊罪	
〔事例〕 1 路上に駐車している乗用車のタイヤのバルブを緩めて空気を抜いた場合における器物損壊罪の成否	(725)
2 中学校のコンクリート塀にスプレー式のペンキで落書きした者の刑責	(727)
3 他人が飼育しているレース鳩を鳩小屋から放して飛び	

去らせた者の刑責	(729)
4 他人のタイムカードを隠匿した者の刑責	(730)
5 自己の駐車場内にある無断駐車 <small>の乗用車を鎖で鉄柱につなぎ、その使用を不能にした者の刑責</small>	(732)
6 他人のCDカードの磁気部分に穴を開け使用不能にした場合における私電磁的記録毀棄罪の成否	(734)
7 強姦の目的で熟睡中の女性の居室に侵入したものの、実行行為に及ぶことなく当該女性の下着を取り出し、その上に射精した者の刑責	(735)
8 嫌がらせのために他人の自転車を持ち去り、近くの河原に放置した者の刑責	(737)
9 ぱちんこ店に侵入して、ぱちんこ台から正規のロムを取り外して偽造ロムに交換した者の刑責	(739)
5 自己の物に対する損壊罪	
[事例] 1 刑法第262条の「物権を負担し」の意味	(741)
2 民事保全法に基づき仮差押処分を受けた自己所有の建物を解体・撤去した者の刑責	(743)
3 抵当権が設定されているビルを購入した後、抵当権者の抗議を無視して同ビルを損壊した者の刑責	(745)
4 契約が切れた後も引き続き居住する借主を追い出すため、その部屋のドアを損壊したアパート経営者の刑責	(746)
5 賃貸中の自己所有の土地に、賃借人に無断でプレハブ住宅を建築した賃貸人の刑責及び当該住宅を勝手に移動した賃借人の刑責	(747)
6 境界損壊罪	
[事例] 1 隣接地の所有者が設置した境界標を損壊した者の刑責	(751)
2 隣地を取り込むために、境界標として認知されている樹木を引き抜き、隣地を取り込むような形で新たにコンクリート杭を埋め込んだ者の刑責	(753)

## 請求対象外

請求対象外

実務(33) 刑法〔下〕

---

平成9年10月16日 印刷発行

東京都千代田区霞が関2-1-1

編集兼  
発行者 警視庁刑事部刑事総務課

電話 (03) 3581-4321

(内線 )

---

印刷所 